

SDGs



世界を変える ための17の目標



エシカルジュエリーを製造・販売するHASUNA社長の白木夏子さん—東京都渋谷区で

A 「エシカル (ethical)」は、英語で「道徳的な」という意味です。環境や人、社会、地域に配慮した商品やサービスを選ぶことを「エシカル消費」と呼び、社会問題を解決する方法として注目を集めています。でも、どういふものを選ぶべきなのでしょう。一般社団法人日本エシカル推進協議会 (神奈川県横浜市の会長の生駒芳子さんに教えてもらいました。

普段、買い物で何をかうか迷ったとき、多くの人には品質や価格、安全性・安心という、三つのものさしで商品を選びます。エシカル消費は、ここに環境や人、社会、地域に配慮しているかという「第四のものさし」を加えることです。

環境や社会に配慮 買い物で未来選ぶ

国内で「これからは環境や社会などに配慮した行動をしないとけない」と企業の意識が変わりました。世界規模で環境問題や人権問題などが深刻化する中、企業だけでなく、私たち消費者側も何かできるかという考え方がエシカル消費です。

東京都渋谷区のエシカルジュエリーの製造・販売

「意味まで知っている」人は6.9%しかいませんでした。生駒さんは「買い物は『投票』です。いい企業に、いいものに、1票入れましょう」と話しています。【真田裕博】

疑問氷解

Q エシカル消費とは何ですか
(奈良市、小学6年、佐竹実乃里さん)

例えば、安い銀鍍金などもを働かせて作っている会社の商品は安くては選ばず、原材料の段階から環境や人権などを大切にしているかという基準で選びます。

エシカルという考え方が広まったのは1990年代後半だそうです。イギリスのフレア首相 (当時) が、アフリカの子どもたちの飢餓問題に手を差し伸べようと外交政策で「エシカル」を強調しました。これをきっかけに、イギリス

「先進国で売られている商品の原材料が、児童労働で採掘されたものかもしれない。知らない間に自分が劣悪なものを取る『まうえり』を呼びかけています。商品は消費期限が近い順に並べられていて、期限切れで捨てられる食品を減らす効果が期待できるからです。

まだ、エシカル消費を知っている人は少ないです。広告会社の調査が3月に行った調査では、エシカル消費という言葉を知っている「聞いたことがある」と答えた人は全体の41.1%でしたが、「意味まで知っている」人は6.9%しかいませんでした。生駒さんは「買い物は『投票』です。いい企業に、いいものに、1票入れましょう」と話しています。【真田裕博】